

○(南) 金龍院きんりょう〔天瑞の西にあり。仏性心宗禪師伝叟和尚塔所。慶長年中金森五郎八長近造立、信長公の冥福を薦すすめ、初め長松和尚を請しやうじて住持なさしむ、故有て当山を擯出ひんしゅつして後、改て伝叟和尚を請しやうず〕

○〔長近は兵部卿法印と号し、飛州高山城に居ず〕

客殿中きやくでんちゆう 山 水 長谷川等伯筆はせがとうはく

礼らい 間 四 愛 堂 同 筆

檀那だんな 間 大 松 同 筆

衣鉢いはつ 間 山 水 同 筆

金龍院額きんりやうがく 朝鮮人黄筆てうせんじんくわうきぼう

杉 戸 芦あしに鷺紅葉鳥さぎ 四枚二枚折彩色よまいにまいをりさいしき 等伯筆